

2020年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日



# I 法人本部

## 【総括】

緑友会は、2020年3月に設立40周年を迎え、2020年度はこれからの10年を展望し、その実現に向けてスタートすることを目標に掲げましたが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大によって、ウイルス感染防止対策に終始した1年となりました。

各施設では、消毒・手洗い・マスクの着用・検温・換気・外出自粛等々、感染対策を徹底し、感染防止を最優先課題として取り組むとともに、多くの業務や行事の中止や延期などが強いられる中、行事のやり方を工夫し、利用者や園児、保護者の視点に立ったサービスの提供に努めました。

財政面では、2019年度の単年度収支が4年ぶりに赤字になり2020年度も新型コロナウイルスの感染による日中一時・短期入所の受入れの中止、通所者の利用制限などによる事業活動収入の減など、厳しい法人運営となりましたが、新たな取り組みとして、各施設長と総務部職員が収入、支出の点検を毎月行うことで、収入確保、支出削減の意識を共有することができると、安定した法人運営に向けた改善を図ることができました。

依然として収束の予測が立たない新型コロナウイルスによる社会経済への多大な影響が予測されますが、引き続き感染防止対策の徹底に注力し、職員確保、離職防止対策による利用者・園児の安定した受入れ環境を整え、安定した法人運営とより一層の安心安全なサービスの提供に努めていきます。

## 1 評議員会

令和2年 6月30日 **【議案】**  
・2019年度事業報告及び収入支出決算について

令和2年10月29日 **【報告事項】**  
(不開催・書面送付)  
・次回評議員会の開催予定について  
・新型コロナウイルス関係について  
・収支状況について  
・訴訟について

令和3年 3月31日 **【議案】**  
・2021年度事業計画及び予算について  
・社会福祉法人緑友会定款の一部改正について  
**【報告事項】**  
・諸報告

## 2 理事会

令和2年 4月30日 **【報告事項】**  
(書面開催)  
・4月1日時点での入所者・園児等の状況について  
・2019年度第3回評議員会について  
・成瀬スタジオ未活用地の売却状況について  
・新型コロナウイルス関連について

令和2年 5月27日 **【議案】**  
(決議の省略)  
・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について  
**【報告事項】**  
・2019年度決算見込みについて (送付状で説明)  
・2020年度収支見通しについて (送付状で説明)

- 令和2年 6月15日 **【議案】**
- ・2019年度事業報告及び収入支出決算について
  - ・2020年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
- 【報告事項】**
- ・2020年度の収支見通しについて
  - ・緊急事態宣言解除後の利用者と園児の状況（6月9日時点）
- 令和2年 7月29日 **【報告事項】**
- ・7月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・2020年度第1回評議員会の報告について
  - ・訴訟について
- 令和2年 8月26日 **【報告事項】**  
（書面開催）
- ・みどり園：太陽光発電導入に伴う効果について
  - ・清川ホーム：基本資料（パンフレット）の更新について
  - ・法人広報「緑友会通信：福祉の輪広げたい」について
  - ・法人設立40周年記念誌の発行について
  - ・新型コロナウイルス感染防止に係わる応援について
  - ・伊勢原ふたば保育園での保護者のコロナ感染について
- 令和2年 9月30日 **【報告事項】**  
（書面開催）
- ・神奈川県による指導監査の実施について
  - ・県内の知的障害者施設での新型コロナウイルスの集団発生について
- 令和2年10月28日 **【報告事項】**  
（書面開催）
- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・本年度の収支状況について
  - ・訴訟について
  - ・評議員会の「不開催」について
  - ・県の指導監査について
- 令和2年11月25日 **【議案】**  
（決議の省略）
- ・金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
  - ・訴訟について
- 【報告事項】**
- ・法人運営等の指導監査の結果について
  - ・伊勢原ふたば保育園の指導監査の結果について
- 令和2年12月23日 **【報告事項】**
- ・本厚木ふたば保育園での新型コロナウイルス発生について
  - ・他施設での新型コロナウイルス関連等について
  - ・みどり園での流行性角結膜炎（はやり目）発生について
  - ・成瀬スタジオ未活用地の売却について
  - ・訴訟について（一部、追加議案）
- 令和3年 1月27日 **【報告事項】**  
（書面開催）
- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・訴訟について
  - ・本厚木ふたば保育園の指導監査結果について（速報）
- 令和3年 2月24日 **【報告事項】**  
（書面開催）
- ・2021年度の理事会開催日程（案）について
  - ・流行性角結膜炎（はやり目）について
  - ・新型コロナウイルス感染症について

令和3年3月23日 【議案】

- ・2021年度事業計画及び予算について
- ・社会福祉法人緑友会定款の一部改正について
- ・社会福祉法人緑友会定款施行細則の制定について
- ・社会福祉法人緑友会評議員会運営規程及び社会福祉法人緑友会理事会運営規程の一部を改正する規程について
- ・2020年度第2回評議員会の招集について

【報告事項】

- ・訴訟について
- ・伊勢原ふたば保育園及び本厚木ふたば保育園の指導監査の結果について
- ・2021年度理事会開催日程について

### 3 代表者会議

理事長、支援部門総括責任者、長塚顧問、加藤理事、総務局長、総務部長、各施設長、医療担当者代表、調理栄養担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催を基本としているが、新型コロナウイルス感染防止対策で4月と3月のみの開催とし、10回は書面報告とした。

法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な事業の報告、書面による確認により、法人全体で共通認識、意思統一を図った。

### 4 広報戦略会議

理事長、支援部門総括責任者、総務部担当職員3名を構成員とし、年10回開催。広報誌、基本資料（パンフレット）・記念誌（40周年）・事業報告の作成、ホームページの見直し及び職員の採用対策などに関して協議を行った。なお、2020年度は、「福祉の輪 広げたい」・「ゆう」とともに年2回の発行を1回とした。

- ・基本資料作成（清川ホーム・本厚木ふたば保育園）
- ・記念誌作成（法人40周年・みどり園40周年）
- ・ホームページの変更（トップページの見直し等）
- ・年賀状の作成
- ・各施設・医療担当者会議・調理栄養士担当者会議の事業報告書を作成
- ・求人サイトの点検
- ・職員の採用活動の検討
- ・広報紙 「福祉の輪 広げたい」  
第34号（1月発行）：[表紙] 「厚木市マスコットキャラクター“あゆコロちゃん”」
- ・法人内職員広報誌「ゆう」  
V o 1 . 0 8 （9月発行）

### 5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
  - 30年表彰 1名
  - 20年表彰 3名
  - 10年表彰 1名
- ・表彰日 令和3年3月24日（法人設立日）

## 6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者及び職員の健康管理・疾病予防対策、事故防止対策、新型コロナウイルス対策、看護師業務改善等について、情報共有や協議を行い、対応を図った。会議のみではなく、随時3名で課題共有を行い、各施設の管理職との連携を強化した。結果として、管理職と共に、利用者にあった適切な施設への移行や新型コロナウイルス感染症マニュアルの作成を行うことができた。また、施設内事故等のフィードバック・職員の意識強化、職員の健康診断病院選択制の導入、業務改善として、みどり園の調剤薬局の変更等による医薬管理の改善を行うことができた。

検討項目

- ・各施設の入院状況、感染症罹患状況の報告、及びその対策について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・事故・怪我の報告、及びその対策について
- ・事故、ヒヤリハットのフィードバックや区分、職員の意識改革強化を図るための啓発について
- ・職員の健康診断病院の追加等について
- ・新規調剤薬局との契約について（みどり園）
- ・事業報告の作成

## 7 職員交流委員会

法人設立40周年記念事業と位置づけて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

## 8 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名、総務部1名を構成員として6回開催（うち1回は新型コロナウイルス感染予防対策で書面のみ）。職場での課題や問題点の協議や新型コロナウイルス感染防止等の意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、より効果的な清掃方法の共有やメニューの拡充、新型コロナウイルス感染防止対策、災害時の対応強化をすることができた。

検討項目

- ・新メニューの開拓について
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・災害時の食事対応について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・事業報告の作成
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について

## 9 栄養士会議

栄養士3名、調理員1名を構成員とし、5回開催（うち2回は新型コロナウイルス感染予防対策で書面のみ）。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。また、看護師と会議を行い、喫食者の健康促進に努めた。

検討項目

- ・アレルギー対応食や食形態低下に伴う個別対応について
- ・災害備蓄食料について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について

- ・感染症、食中毒防止について
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・各施設間の情報交換
- ・看護師と健康・栄養推進会議の開催

## 10 支援のあり方検討委員会

事業所から推薦された職員6名を構成員とし、10回開催。障害者支援施設の現状とこれからをテーマに話し合い、2020年度「中間報告」としてまとめた。

報告項目

- ・利用者の高齢化について
- ・事故防止について
- ・専門性の向上について
- ・生活環境の向上について
- ・働きやすい環境づくりについて

## 11 衛生管理点検

給食を提供している5施設の調理場等の衛生管理点検を10月からこれまでの衛生管理委員(非常勤特別職員)と各施設長による月2回の点検から、各施設長による衛生点検と主任調理師による月2回の点検に変更し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

## 12 施設整備等

- ・伊勢原スタジオ3F・みどり園作業室エアコン改修
- ・みどり園スマートフォン内線化システム導入
- ・みどり園・清川ホーム・つくし・アトリエヴェルデ空気清浄機設置24台
- ・つくし相談室網戸設置工事

## 2020年度の課題に対する自己評価

増加傾向にある障がい者に関わる相談や福祉サービス、待機児童の解消、子育て支援内容の充実など、様々な課題が山積する中、安心安全なサービスを提供するための支援員・保育士等の人材確保や離職防止等が喫緊の課題となっている。

こうした中、緑友会は本年3月24日に設立40年を迎えた。引き続き人材確保と離職防止に取り組むとともにこうした節目を好機としてとらえ、これまでの振り返りと今後の10年を見据えた緑友会としての支援・保育のあり方を展望し、設立50年に向けた取り組みをスタートさせたい。

### 1 安定した法人運営の維持

サービスの充実と質の向上に努めるとともに、事業所ごとに差のある収支バランスを是正し、財政面がより安定した法人運営に努める。

⇒ 新型コロナウイルス感染症による、入所施設・通所施設・保育園等の各事業所の利用制限・自粛等による事業活動収入が減少するなか、2020年度から新たな取り組みとして毎月の各施設の収支状況の点検を行い、安定した法人運営に努めた。

## 2 安心安全な支援体制の充実

支援の利用者の多様性、高齢化、重度化が進展する中、安心安全な支援を提供するため、昨年度設置した「支援のあり方検討委員会」の答申を受け、今後の支援の充実と質の確保に向けた取り組みを開始するとともに支援員の確保、離職防止等に引き続き取り組む。

⇒ 20回にわたる検討を重ねた「支援のあり方検討委員会」の結果を中間報告としてまとめることができた。中間報告の内容を各事業所で実践するとともに、引き続き、よりよい支援のあり方について検討する。

## 3 安心安全な保育サービスの提供

待機児童の解消対策による保育施設の増加に伴う保育士不足解消という短期的課題がある中、中長期的には少子化を見据えた、魅力ある保育の実践、保育士の質の向上に努めていかなければならない。引き続き、多様な就労形態の保育士の確保、離職防止対策、保育士の質の向上に努め、安心安全な保育の提供に取り組む。

⇒ 保育士確保による安定した保育体制を確保することができ、順調に園児の受け入れ態勢をとることができた。引き続き、保育体制の確保に努めるとともに、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、安心安全な保育の提供に取り組む。

## 4 緑友会設立40周年記念事業の実施

これまでの振り返りと今後に向けたスタートの年度とし、記念誌の発行をはじめ節目を活かした事業を展開する。

⇒ 新型コロナウイルス感染症によって設立40周年を節目とした事業は自粛することとしたが、これまでの振り返りを記念誌としてまとめた。



## II みどり園

### 1 指定障害者支援施設 みどり園

#### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	65	65	65	66	66	65	66	66	66	66	66	67
入所	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2019年度 在籍数	68	68	68	68	67	67	67	67	66	66	65	65

#### (2) 生活介護通所者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2019年度 在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

#### (3) 行事

4月 1日	開園記念式
5月 25日	カフェイベント
6月 22日	居酒屋イベント
7月 27日	七夕イベント
8月 22日	納涼イベント
9月 28日	お月見イベント
10月 26日	ハロウィンイベント
11月 2日	バザー
11月 20日	ほっとドリンクイベント
12月 21日	クリスマス食事会
1月 25日	豚汁イベント
2月 22日	チョコレートイベント
3月 15日	カップラーメンイベント

#### (4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
6月 26日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
7月 21日 9:30～	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
9月 1日 10:10～	防災訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、非常食取り扱い訓練、発電機使用訓練を行った。
10月 16日 9:30～	避難訓練 (がけ崩れ想定)	がけ崩れの兆候を想定して訓練を行った。
3月 23日 9:30～	避難訓練 (日中火災想定)	調理室より出火想定で訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

## (5) 広報

「園だより」を2回発行した。

- ・第176号（6月13日発行） 新年度あいさつ・開園記念式・フォトギャラリー・調理場特集・職員紹介
- ・第177号（3月13日発行） 施設長あいさつ・カフェイベント・居酒屋イベント・納涼祭・お月見イベント・ハロウィンイベント・ホットドリンクイベント・クリスマス食事会  
豚汁イベント・バザー・フォトギャラリー・職員研修・感染症対策について・イベント色について  
・皆で選挙に行こう・書道

## (6) 権利擁護、本人活動支援

- ① 利用者自治会  
年間5回開催。実施したいイベントについて話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。また、職員からの提案事項を相談させていただいた。
- ② 虐待防止委員会  
人権委員会を虐待防止委員会に変更し、虐待防止委員会規程を作成。原因不明の皮下出血が見られたケース等の検証を行った。研修にて、利用者の呼称・利用者への情報提供・プライバシーの保護・インフォームドコンセントについての確認を行った。

## (7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
5月 26日 13:30～	新任研修（講義・演習） 講師：新実施設長	・組織の職員としての心構え ・直接的技能・虐待防止
7月 27日 17:00～	スーパービジョン（講義） 講師：新実施設長	・スーパービジョンとは ・今後のみどり園スーパービジョン体制展望
8月 27日 17:30～	ビジネスマナー（講義・演習） 講師：池田主査支援員	・ビジネスマナー（言葉遣い、挨拶、電話対応等） ・みどり園仕事のルールとマナー
9月 28日 17:00～	ガウンテクニック（演習） 講師：青塚看護師、和田支援員	ガウンテクニックの方法習得
11月 13日 14:00～	摂食・嚥下の基本と食事支援（講義・体験） 講師：歯科医師 松田悦子氏	摂食・嚥下の基本と食事支援
1月 25日 17:00～	個別支援計画書作成（講義・演習） 講師：池田主査支援員	・個別支援計画書作成のポイント ・個別支援計画書作成演習
2月 22日 17:30～	障がい者虐待防止・権利擁護研修（講義・演習） 講師：秋本副施設長	・障がい者虐待防止法の理解と対応 ・アンダーマネジメントについて
3月 10日 17:00～	スーパービジョン（講義） 講師：和田支援員	・スーパービジョンの基本姿勢 ・バイザーへの伝え方のコツについて

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ利用者数 433人 (令和元年度 794人)

### (2) 地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

年間 延べ利用者数 687人 (令和元年度 1,029人)

## 2020年度の課題に対する自己評価

1 職員の利用者支援技術の向上を図るため、施設内外の研修を受講するなど、研鑽に努める。

⇒ 年間の研修計画を立て、計画的に研修を実施。職場内研修を毎月実施し、職場外派遣研修も福祉職員キャリアパス生涯研修過程に基づき、昨年度より多く参加してもらうことができた。次年度は職場研修の仕組みを確立し、職員の「専門性」とともに「組織性」を高めていく。

2 職員の異動に伴う新体制を契機として、より一層の支援のサービス向上をめざしていく。

⇒ 新体制を契機として、スーパービジョン体制の構築を目標に掲げて、職場内研修を強化した。コロナ禍で、利用者が楽しみにされていた行事や外出が中止になってしまったが、施設内でのイベントを毎月行うことでサービスの向上を図った。また、生活介護通所等を別活動として新しい取り組みを行った。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・新型コロナウイルス感染症対策会議の開催
- ・施設内の消毒の徹底（朝夕2回）
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者はアislーション対応とした。
- ・マスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品の整備。
- ・職員の行動記録票、通所利用者の健康観察記録の作成。
- ・食事の時間を変える等、職員と利用者と一緒に食事を摂らないように配慮。
- ・新型コロナウイルスの感染症について・アislーションについての職員研修の実施。
- ・加湿空気清浄機の設置。
- ・外部業者による館内立入の制限。

### 【中止・変更した事業等】

- ・緊急事態宣言期間中の短期入所、日中一時支援事業を中止。
- ・緊急事態宣言中の訪問歯科診療、美容理容を中止。
- ・納涼祭、一泊旅行、バザー等を毎月のミニイベントに代替し、縮小して実施。
- ・外出、施設外イベントの参加等の中止。
- ・帰宅、保護者との面会を中止。
- ・保護者会の開催回数を減らし、代替として利用者の写真と状況報告書を送付した。
- ・令和3年2月からオンライン面会を開始。

### Ⅲ 清川ホーム

#### 1 指定障害者支援施設 清川ホーム

##### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	52	52	52
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
2019年度 在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	51	51

##### (2) 行事

5月	ふれあいフェスティバル（中止）
7月 18日	夏のお楽しみ会（サマーフェスティバルが中止となり代替え行事）
12月 22日	クリスマス会
1月 14日	どんど焼き
1月 26日	新年の祝い（敬老対象者がいない為代替え行事）
月例行事	みんなの会

##### グループレクリエーション

\*新型コロナウイルスの感染症対策の為、例年行っている日帰りレクリエーションを中止し、街の洋食屋等からお弁当を購入し、食事会を実施。

日	時	食事会
5月19日		C・Dグループが担当し、セブンイレブンよりお弁当を購入
6月16日		A・Bグループが担当し、栗の里山際店よりお弁当を購入

##### (3) 防災

日	時	訓練種別	訓練状況
4月 14日	13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行った。浄水訓練も行った。
5月 12日	13:30～	避難訓練 (火災：日中想定)	2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
6月 9日	9:20～	避難訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。非常食で昼食。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 14日	13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	食堂からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
8月 4日	13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震：日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。浄水訓練も実施した。
9月 8日	13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	夕食後2階廊下からの出火を想定し、避難訓練を行った。消火訓練も実施した。
10月 13日	9:30～	避難訓練・図上訓練 (地震：日中想定)	避難訓練後、セキュリティーの確認や、防犯システムの確認を行った。
11月 17日	13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災：夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は3階作業室。消火栓による消火訓練を実地した。
12月 8日	13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 19日	13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：夜間想定)	19時想定職員5名、出火は3階作業室で消防署へ通報訓練を実施。除雪機の操作訓練を実施した。
2月 9日	13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震：日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
3月 9日	13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災：日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。除雪機の操作訓練を行った。

業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も2回実施した。

#### (4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第133号(9月26日発行)第三十一回開園記念日、夏のお楽しみ会、その他行事報告  
第134号(3月27日発行)新年の祝い、秋のお茶会、クリスマス会、その他行事報告  
常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

#### (5) 権利擁護、本人活動支援

##### ① あおぞらプラン(かながわ知的障害者権利擁護プラン)の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

##### ② 苦情解決(厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、食堂でオンブズマン相談会を行い、相談者1人ひとり、順番に相談を行う。相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応する。

##### ③ 本人活動支援(厚木地区としての活動)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、厚木地区の本人活動支援(Aネット協力員)運営会議を行い、様々な活動を企画する。利用者の研修会とし、食事会関係のレクリエーションやカラオケ等で地域活動を行う。

##### ④ 本人活動支援(清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会・答える会

年間12回実施。聞く会・答える会と交互に行った。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて回答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。

#### (6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。AED・心肺蘇生法、防犯研修、高齢化への支援、オムツの当て方、人権についての研修、感染症対応についての研修を行った。新型コロナウイルス感染症対策・予防の為、今年度は外部講師を招く研修は延期し、内部研修を中心に行った。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 50人 延べ利用日数 904日 (令和元年度 67人 1,146日)

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 35人/年 (令和元年度 197人/年)

## 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 作業などの日中活動を継続的に提供し、情緒の安定を図る。  
⇒ コロナ禍のなか思うような日中活動はできなかったが、見通しの立つパターン化された日中活動を提供できたため、自閉傾向のある利用者さんの情緒的な安定につながった。
- 2 施設内外の研修を通して専門性のより一層の向上に繋げる。  
⇒ 講師を依頼する研修はできなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の研修会では、利用者目線で日常の支援の見直しを行ったり他事業所の支援員と意見交換を行ったり、専門性を高めることができた。
- 3 避難訓練の内容を向上させるとともに、台風や雪害対策の準備を重視する。  
⇒ 防災マニュアルの読み合わせを行いながら一つずつ細かい点検を行うことで改めて理解を深めることができた。
- 4 引き続き、支援員の確保に努める。良好なチームワークを維持する。  
⇒ 支援員の確保はできなかったが、新採用の支援員向けの「支援員の心得」「支援の内容」「勤務形態」等のマニュアルを作成した。
- 5 これまで以上に地域と密着した行事等になるよう、地域との連携の促進を図る。  
⇒ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対応のため、地域の方との交流を図るサマーフェスティバル等は行えなかったが、清川村の障がい者計画等の策定に協力し意見交換を行った。
- 6 業務の見直し:危機管理の確認と徹底  
⇒ 新型コロナウイルス感染症の集団感染の防止を徹底するためのミーティングを毎月行うなど、クラスターを発生させない危機管理の徹底を図った。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・新型コロナウイルス感染症対策会議の開催
- ・施設内の消毒の徹底
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者はイソレーション対応とした。
- ・N95マスク、サージカルマスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品の整備
- ・空気清浄機、オゾン脱臭機の設置。
- ・職員の行動記録票の作成
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための職員研修の実施。
- ・外部業者による館内立入の制限

### 【中止・変更した事業等】

- ・緊急事態宣言期間中の短期入所、日中一時支援事業を中止。
- ・訪問歯科診療、訪問マッサージ、美容理容、ミュージックセラピーを中止。
- ・日帰りレクは食事会に、サマーフェスティバルはお楽しみdayに変更する等、事業を縮小して実施。
- ・厚木地区の活動、Aネットの活動など、外出による事業参加の中止。
- ・帰宅、保護者との面会を中止としたが、Zoomによる面会制度を導入。
- ・保護者会の開催回数を減らすとともに、施設外の施設で開催。

## IV 伊勢原ふたば保育園

### 1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

#### (1) 令和2年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	7	8	8	8	8	10	10	12	12	12	12	12
1才	13	12	15	15	17	18	18	18	18	18	18	18	18
2才	18	18	18	17	17	18	18	18	18	17	16	15	14
3才	20	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20
4才	28	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
5才	30	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
合計	120	99	103	103	105	107	109	109	111	111	110	109	108
	2019 年度	89	93	93	93	93	94	95	94	95	95	95	95

#### (2) 行事

4 月	1 日	新入園児歓迎会（各クラスごと）	
	4 日	保育説明会・懇談会（中止）	
	23 日	5歳児プラネタリウム見学（延期）	
5 月	15 日	4歳児春の遠足（平塚総合公園）（中止）	
	21 日	5歳児春の遠足（わんぱくランド）（中止）	
	26 日	けやきの郷との交流会（4歳児）1回目（中止）	
	29 日	3歳児春の遠足（防災の丘公園）（中止）	
6 月	5 日	田植え（5歳児）（中止）	
	26 日	けやきの郷との交流会（4歳児）2回目（中止）	
7 月	1 日	プール開き	
	3 日	おたのしみ会（5歳児）（買い物、カレー作りは中止）	
	7 日	七夕（各クラスごと）	
	11 日	夏まつり（中止）	
9 月	4 日	引き渡し訓練（中止）	
	10 月	3 日	運動会〔4.5歳児のみ参加 種目内容変更、 保護者のみ見学、マスク、検温、2m間隔を保つ〕
16 日		3歳児秋の遠足（里山公園）（下糟屋公園に変更）	
19 日		芋ほりごっこ（4歳児）園庭の花壇にて	
20 日		芋ほりごっこ（5歳児）園庭の花壇にて	
21 日		芋ほりごっこ（3歳児）園庭の花壇にて	
22 日		4歳児秋の遠足（新江の島水族館）（下糟屋公園に変更）	
30 日		5歳児秋の遠足（ズーラシア）（下糟屋公園に変更）	
11		9 日	高森荘との交流会（5歳児）（中止）
		12 日	みかん狩り（4歳児）（中止）
12		12 日	リズム発表会（中止）
	25 日	クリスマス会（各クラスごとに変更）	
1 月	15 日	新春マラソン大会〔5歳児保護者1名のみ見学〕 〔保護者マスク着用、検温〕	
	29 日	防火センター見学（5歳児）	
2 月	2 日	豆まき	
3 月	5 日	5歳児卒園遠足（八景島シーパラダイス）（延期）	
	9 日	お別れ会（各クラスごとに行う）	
	13 日	卒園式〔内容変更、時間短縮、保護者のみ出席〕 〔保護者マスク着用、検温〕	
	24 日	5歳児プラネタリウム見学	
	26 日	5歳児卒園遠足（小田原わんぱくランド）	
	31 日	保育終了の会（全園児から3歳児以上参加に変更）	

※このほか毎月、身体測定。

※誕生会は全体から、各クラスごとに変更した。

※5月～6月・1月～2月に個人面談を行う予定は中止した。但し、5歳児は就学を控えているため、6月に希望者のみ行った。

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月10日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について職員間での確認や子ども達には紙芝居等を通して学んだ。
5月29日 10:30	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難となったが各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
6月6日 10:30	避難訓練 (火災想定)	土曜日の異年齢の保育中の火災を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月25日 10:30	不審者対応訓練 (園内に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応した。(予告なし)
7月17日 10:15	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
8月25日 9:40	避難訓練 (地震・火災想定)	熱中症の危険性があった為室内で遊んでいる時の訓練とした。各クラス迅速に避難体制をとって訓練できた。(予告なし)
9月4日 9:45	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練の予定だったが、熱中症になる恐れがあったため、避難は見送ることにした。
16:00~	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月26日 15:40	避難訓練 (台風・竜巻想定)	冠水も想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。(予告なし)
11月17日 10:50	避難訓練 (火災想定)	火災発生場所を見つけた職員が事務所及び近くの職員に知らせ、各クラスは迅速に避難体制をとることができた。(予告なし)
12月2日 17:10	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難することができた。(予告なし)
1月27日 10:40	避難訓練 (Jアラート想定)	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。(予告なし)
2月9日 9:20	不審者対応訓練	他の保護者に紛れて園内に侵入した不審者に対して、複数の職員で対応できた。また、不審者を刺激しないように合言葉で全体に伝え、各クラス避難体制をとることができた。(予告なし)
2月16日 18:20	避難訓練 (地震想定)	夕方の延長保育時間中の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。(予告なし)
3月29日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。(予告なし)

### (4) 広報

- |              |       |
|--------------|-------|
| ○園だより、クラスだより | 毎月発行  |
| ○保健だより       | 年4回発行 |
| ○ホームページの更新   | 随時    |



## 2 その他の取り組み

### (1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 9件 (平成31年度 9件)  
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

#### ① 園庭開放

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、園庭開放も自粛していた為地域の方々との交流の機会をもつことがほとんどできなかった。

#### ② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から地域教育等連絡協議会が開催されなかったこともあり、例年行っていた「あいさつ運動」も行うことができなかった。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

新型コロナウイルス感染症の影響で、中高生と園児の交流する機会を持つことができなかった。

エ 世代間等交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行っていた、「湘南けやきの郷」「ケアセンター高森荘」との交流会は中止となった。

### (2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
2020年度	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4人
2019年度	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3人

### (3) 職員研修

(園内研修)

月 日	内 容		受講人数
6月19日	施設設備操作研修	(相日防災)	15人
6月30日	AED講習	(伊勢原市消防署)	中止
9月 7日	保護者対応について①	(渋谷先生)	中止
10月20日	保護者対応について②	(渋谷先生)	中止
1月 22日	保護者対応について③	(渋谷先生)	中止
3月 8日	自己評価まとめ	(主任)	15人

※中止になった研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる。

(外部研修)

月 日	場 所	内 容	対 象
7月 30日	厚木	新型コロナウイルス感染症対策研修会	看護師
9月 8日	自園	保健衛生・安全対策 (ZOOM研修) 計5回	保育士
10月 20日	自園	保護者支援・子育て支援 (ZOOM研修) 計5回	保育士
12月 2日	自園 平塚	マネジメント (eラーニング研修) 合計15時間	保育士

※新型コロナウイルス感染症の影響で研修自体が減ってしまったり、派遣するリスクを考慮し、予定していた研修をキャンセルした為、例年より研修の機会が減ってしまった。

## 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 保育所保育指針に沿いながら、子どもの利益を考慮した保育に努める。  
⇒ 保育指針の中において求められている子ども一人ひとりに丁寧な保育をさらに心掛け日々の保育に努めた。
- 2 職員一人ひとりの専門性を高めるとともに、保育に関わる全職員が保育目標を共有し一丸となって取り組む。  
⇒ 保育士、看護師、調理員、事務員各自の専門性を活かし園児に関わることができた。職員会議、ミーティング等を通して園児一人ひとりの成長や配慮事項を全職員で共有することができた。
- 3 一人ひとりが安全・安心な保育を提供するため、様々な機関と連携を取りながら保育運営を進めていく。  
⇒ 子どもを取り巻く環境や育ちに配慮しながら、また、成長過程を捉えながら園全体で保育運営を進めていくことができた。また、健康面は看護師を中心に外部機関と連携をとりながら、園児の成長や保育の質を高めることができた。  
新型コロナウイルス感染症予防に関しては、園児・職員の検温の記録保存や体調・手洗い消毒の徹底や換気、玩具消毒など保育室の衛生管理に努めた。行事については、中止せざるを得ないものもあったが、内容を変更するなど工夫して実施した。
- 4 行事や保育全体を見直し、園のさらなる充実をはかる。  
⇒ 今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、行事を中止または内容を変更することを余儀なくされたが、「今までやっていた」などの思いが強かった部分もあったので、行事や保育を見直す良い機会となった。引き続き、行事・保育の充実に向けていきたい。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内や玩具などの消毒を徹底する。
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・園児、保護者、職員手指の消毒の徹底。換気の徹底。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤停止とし、医療機関への受診と経過、結果報告を義務付けた。
- ・看護師と連携した園児、職員の健康管理の徹底。
- ・午睡時、給食時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の配置。
- ・感染防止のための職員一人ひとりの責任ある行動を要請。
- ・新型コロナウイルス感染症情報の報告・連絡・相談の徹底。

【中止・変更した事業等】

- ・春の遠足、夏まつり、クラス懇談会、個人面談、リズム発表会は中止。
  - ・運動会は4・5歳児のみ入れ替え制で時間を短縮して実施。保護者は2名に制限しマスク着用を徹底。
  - ・卒園式は卒園児、保護者、正職員のみとして時間を短縮して実施。保護者出席は2名に制限し、マスク着用、検温を徹底した。
  - ・実習生受け入れを中止または次年度に延期。
  - ・全体でおこなっていた季節行事は各クラス単位で短時間で実施。
- \*新型コロナウイルス感染症予防の為、予定していた保育活動に様々な影響を受けたが園児、職員の安心、安全を第一に心掛けた。  
引き続き、気を緩めることなく制限の多い中でも保育の充実を図っていきたい。

## V 本厚木ふたば保育園

### 1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

#### (1) 2020年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	3	4	6	6	7	8	8	9	9	9	9	9
1才	13	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3才	13	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11
4才	14	10	10	10	9	9	9	9	9	10	10	10	9
5才	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	79	59	61	63	63	64	65	66	67	68	68	68	67
2019年度	79	58	58	58	59	61	60	60	61	61	61	61	61

#### (2) 行事

4月 1日	入園・進級式(中止)	1月 8日	新春の集い(クラス毎)
3日	保育説明会及び懇談会(中止)	14日～2月26日	個人面談(中止)
24日	遠足(ぼうさいの丘公園 中止)		
	さつまいも苗植え(中止)	2月 2日	豆まき
11日～5月26日	個人面談(中止)	19日	お店屋さんごっこ
6月11日	プラネタリウム	3月 3日	ひなまつり会
7月 7日	七夕の集い	5日	思い出遠足(三川公園)
10日	夏まつり(園児のみ)	12日	ひまわり組を送る会
9月 6日	引渡し訓練(中止) 洪水・津波訓練	19日	卒園式
10月 9日	運動会(園児のみ)	31日	修了式
14日	プラネタリウム		
16日	遠足(ぼうさいの丘公園)		
30日	安全指導教室		
11月 2日	クラス懇談会(中止)	*各月に、誕生会、身体測定	
15日	演劇鑑賞会(中止)	避難訓練などを実施	
12月25日	クリスマス会		
	クリスマス会発表会(中止)	*年2回 内科健診、歯科健診	
		コロナの影響で、各1回ずつになった	

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 14日 9:30～	避難訓練 (凶上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について紙芝居などを通して話し合った。乳児クラスは保育士の動きを確認した。乳児は、頭巾を嫌がる児が多い。
5月12日 9:30～	避難訓練 (地震想定)	実際に避難靴を履いての避難とした。乳児は園庭に避難してからくつを履いた。幼児は速やかに靴を履いて避難できた。
6月 2日	通報避難訓練 (火災想定)	消防署に通報の訓練をした。幼児クラスでは、自分の靴の確認が難しい児がいた。(予告なし)
6月16日	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。(予告なし)
7月14日	避難訓練 (火災想定)	園庭からの火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示で行動した。(予告なし)
8月 4日 14:55～	避難訓練 (地震想定)	午睡中の地震発生を想定して、訓練を行った。寝ている児には布団を掛け、幼児も自分で布団を被った。
9月11日 9:45～	避難訓練 (津波・洪水訓練)	洪水・浸水想定区域に指定されているため、ビルの上階に逃げる訓練をした。
16:30～	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月 6日 17:00～	避難訓練 (地震想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月10日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。担任のホイッスルを合図に集まる事ができた。その後、園に連絡できた。
12月 1日 8:30～	避難訓練 (火災想定)	給食室からの火災を想定し、放送を聴いて園庭まで避難した。
1月13日	避難訓練 (火災想定)	園内放送で避難した。各クラス、階段で避難した。(予告なし)
2月 2日	避難訓練 (地震想定)	早番の時間帯での避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。(予告なし)
2月16日	避難訓練 (不審者対応)	落ち着いて担任の話聞いて静かに待つことができた。(予告なし)
3月 2日 16:00～	避難訓練 (火災想定)	火災現場を把握し、適切な避難ができるようにした。(予告なし)

#### (4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページ内の「園内イベント紹介」は、行事を行うごとに更新した。

#### (5) 職員研修

##### \*外部研修

6月 23日	0歳児の発達と保育
7月 4日	0歳児の発達と保育
8月 28日	療育相談センター まめの木研修
12月 2日	療育相談センター まめの木研修
12月 12日	神奈川県保育エキスパート等研修 障がい児保育

## 2 その他の取り組み

### ① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。全学年で取り組めるよう、楽しみながら音の感覚を養えるようにした。年間を通して取り組みたかったが、コロナ禍で外部講師をお願いできず、十分にできなかった。

### ② 栄養士を採用し、独自のメニューを取り入れた。また、食育に取り組み、子どもたちの食に対する意識付けを高め、自分たちで作った野菜を食べたり、味噌を作ったり味噌汁にして食べたりした。新型コロナウイルス感染症の影響で、クッキング保育などはできなかったが、パネルなどを使って展開した。

### ③ 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践

職員全体で共有できるようにし、子ども達が楽しみながら取り組めるようにした。毎日の保育に取り入れ、子ども達の体幹を鍛え、心身ともに成長していくことができるよう心掛けた。保育士自身の体幹も鍛えられるよう実践した。

## 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 本厚木ふたば保育園のめざす保育を共有し、一丸となって取り組む。  
⇒ 本厚木ふたば保育園の目指す保育を共有するため、職員間の報告・連絡・相談を徹底し、情報の共有化を図った。
- 2 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践し、子どもたちにより良いリズムを提供できるようにする。また、保育士自身の体幹も鍛える。  
⇒ 各年齢の発達に応じた「さくら・さくらんぼのリズム」を毎日の保育に取り入れた。また、保育士も積極的にリズムを実践し体幹を鍛えるようにした。
- 3 地域の特徴を出し、地域に溶け込んだ保育園を目指す。  
⇒ 地域の子育て支援は充実できなかったが、公園で地域の方と一緒に遊んだり、地域内の他園と交流はできた。なお、厚木市が取り組んでいる、おむつ替えや授乳のできる赤ちゃんの駅「ベビリア」として施設の提供を行った。

- 4 真心保育で、安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。
- ⇒ 保育士としての自覚の向上を図り、子ども達一人ひとりに対し丁寧に、より安心安全な保育に取り組んだ。
- 5 緑友会の設立40周年という節目に、10年先を見据えた検討を行う。
- ⇒ 新型コロナウイルス感染症対応に追われ、保育園の将来を思い描いた今後の目標等を検討する余裕がなかったため、引き続き検討を行っていく。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・園児、職員の手指消毒の徹底。
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良の場合は出勤、登園停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の設置。
- ・退勤時、着用した服等をクロール水で除菌し、退勤。
- ・緊急事態宣言時に園児の登園自粛に併せて職員の出勤自粛を行った。
- ・職員に対し会食、旅行等の自粛の要請。
- ・給食時に話さないように園児に指導。
- ・午睡時にベッド間の距離を離して配置。

### 【中止・変更した事業等】

- ・夏祭りは保護者の参加なし、運動会は4・5歳児のみで、それぞれ短時間で実施。
- ・クリスマス発表会、クラス懇談会、クラス面談を中止。
- ・卒園式の出席者を1家族2名に制限。マスク着用・消毒を徹底し、短時間で実施。
- ・実習生受入れを中止又は次年度に延期。
- ・全体で行っていた季節行事等は各クラス単位で短時間で実施。

\* 新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事が制限されたり、行事や研修などもできなかつたりした。その中でも、子どもたち中心の楽しい保育の提供を心掛けた。今後も、感染症対策をしっかりと行い、保育を展開していきたい。

## VI げんき家

### 共同生活援助事業

#### 1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

#### 2 利用者に対する支援

知的障がいのある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

#### 3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 床
	朝食 勤
	【職場、施設、作業所など】
17:30	出勤 帰宅
	(世話人と夕食づくり)
18:30	夕食
	(世話人と食器片付け)
19:30	入浴
	自由時間
	就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

バックアップ施設となっているみどり園の職員と世話人との協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

#### 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 入居者の特性について理解を深め、管理者兼世話人と連携を図る。  
⇒ みどり園職員と入居者との関係性も良好であり、入居者の障がい特性についての理解がより一層深まり、管理者兼世話人との連絡調整も円滑にできた。
- 2 高齢入居者の健康管理に重点を置きながら、一般就労している方の就労継続を支援していく。  
⇒ 高齢入居者の健康管理を重要課題と位置づけ、必要に応じて通所先への送りだしの見守り等も行っている。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。  
⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定した研修が中止となった。

#### 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

##### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒、換気の徹底
- ・利用者、職員の検温、手洗い、うがい、消毒、マスク着用の徹底。
- ・感染予防消耗品、消毒液生成器の購入。
- ・利用者へ必要以外の外出自粛を要請。
- ・外出自粛によるストレスへの配慮。



## VII つくし

### 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

#### 1 利用実績 (開所日数・利用者数・平均作業工賃等)

2020年度実績 登録者平均利用率 48.38%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	18	26	27	25	26	27	25	25	23	24	27	24.6
登録者数	49	51	50	50	50	50	52	52	52	52	51	50	50.8
延利用者数	567	525	647	615	524	629	664	643	649	566	568	646	603.6
平均作業工賃	12,871	11,189	13,965	14,203	16,530	12,780	14,807	12,318	18,001	11,452	13,075	15,156	13,591

#### 2019年度実績

登録者平均利用率 48.65%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	28	25	27	27	25	27	26	24	23	22	24	25.3
登録者数	50	48	49	47	47	46	47	48	50	49	49	49	48.3
延利用者数	611	572	601	642	543	539	634	614	628	571	542	632	594.1
平均作業工賃	13,779	13,493	12,861	14,404	16,448	13,127	13,720	12,473	18,663	11,798	12,652	14,045	13,834

※ 登録者平均利用率 = 延利用者数 ÷ (登録者数 × 開所日数)

#### 2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、  
検品、段ボール組立、小型家電リサイクル解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等

自主事業

オリジナルカレンダー・絵葉書・手芸品等の販売・リサイクル品販売など

#### 3 その他の活動

就労支援活動

SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 2名 (31年度 3名)

実習生受入

東海大学健康科学部社会福祉学科、田園調布学園大学・子ども未来学部  
子ども未来学科・人間福祉学部社会福祉学科・心理学科

#### 4 行事

4月	2日	花見 (中止)
	19日	西湘地域統一メーカーバザー (中止)
5月	22日	スポーツ交流会 (中止)
6月	6日	ほっぷすてっぷガレージセール (中止)
	16日	みどり園衣類訪問販売 (中止)
	18日	日帰り旅行 (中止)
7月	2日	家族の集い (中止)
	3日	平塚七夕見物 (中止)
8月	3日	蕎麦打ち体験 (中止)
	22日	みどり園納涼祭 (中止)
	25日	暑気払い (中止)
	28日	わいわいマーケット映画会 (中止)
9月	8日	バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区・中止)
	26日	伊勢原市障害者スポーツ大会 (中止)
	30日	湘南西地区苦情解決委員会第三者委員訪問 (中止)
10月	3・4日	道灌祭 (中止)
	28日	みくるべバザー (みくるべ病院・中止)
	29日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等・中止)
11月	17日	日帰り旅行 (中止)
12月	2日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン (中止)
	5日	ふれあい福祉まつり (すこやか園・ドリーム・中止)
	10日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
	17日	ハートメッセージ動画鑑賞会 (つくし内)
1月	4日	初詣 (伊勢原大神宮)
2月	3日	伊勢原大神宮節分祭 (中止)
	10日	梅見会 (別所梅林・中止)
3月	29日	花見 (秦野市中央運動公園)

※ その他、絵手紙教室、運動プログラム、街頭募金 (中止)

## 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
3月5日	避難訓練(地震想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月22日	避難訓練(火災想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。

### 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 定期的に受注していた作業がいただけなくなったため、新規受注先を開拓し、工賃の時給額のアップを目指したい。  
⇒ 新型コロナウイルスの影響で上半期は企業からの受注量が減少し、目標工賃収入を達成できなかった。下半期は新たに受注契約を交わした企業から毎日の作業をいただけただため下半期の作業収入が増となったが、上半期の影響により利用者の工賃を上げることができなかった。2021年度は作業収入増に努め、工賃アップを目指したい。
- 2 スーパービジョン体制(「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」)をさらに整える。  
⇒ 新型コロナウイルスの影響で、職員全員を対象にスーパービジョン基礎研修、スーパービジョン面接を十分に実施できなかった。2021年度も引き続きスーパービジョン体制を充実していきたい。
- 3 つくしの魅力(一般企業就労実績・専門性の高い支援・丁寧な仕事等)をホームページ等で発信し、見込み層(働きたい)と潜在層(知らない)につくしを認知してもらい、利用者の獲得と、企業から作業を発注していただけるようにPR活動を行う。  
⇒ リタリコ仕事ナビ事業所運営サポートに登録し、一般企業への就労実績や専門性の高い支援等の情報を発信できたことから問い合わせは増加したが、見学者については相談事業所等の紹介で来園する方が多かった。2021年度はリタリコ仕事ナビサイト登録を解除し、ホームページのリニューアルを行うことで利用者獲得と企業へのPR活動を行いたい。

### 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

#### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・作業室と面談室に飛沫防止用ビニールを設置。
- ・昼食時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良の場合は出勤、利用停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、非接触型体温計等、感染予防対応の物品の整備。
- ・利用者、職員の毎朝の検温、作業開始前の検温、手指消毒の徹底。
- ・空気清浄機の設置。
- ・入室者記録、チェック表を作成。

#### 【中止・変更した事業等】

- ・年度前半は行事を中止し、1月から飲食を伴わない行事を縮小して実施。
- ・家族の集いの中止、ボランティア等の訪問の制限。

## Ⅷ アトリエ ヴェルデ 就労継続支援B型事業所

定員 20名 所在地 伊勢原市高森1422-7

### 1 利用実績（開所日数・利用者数・平均作業工賃等）

2020年度実績 登録者平均利用率 81.65%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	21	23	21	23	23	20	23	22.3
登録者数	28	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26.3
延利用者数	426	518	500	507	482	466	500	479	480	463	416	504	478.4
平均作業工賃	10,593	7,626	16,356	16,024	14,403	15,561	17,184	15,929	21,983	15,238	13,407	17,312	15,683

2019年度実績 登録者平均利用率 84.75%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	22.5
登録者数	24	24	25	25	24	24	24	23	23	23	23	25	23.9
延利用者数	485	476	477	490	441	435	476	432	440	443	403	476	456.2
平均作業工賃	14,916	15,335	18,657	15,476	13,936	14,450	14,886	15,578	20,899	15,270	14,147	15,745	15,769

※ 登録者平均利用率＝延利用者数÷（登録者数×開所日数）

### 2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

### 3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入  
七沢学園実習生受入  
教員見学受入 伊勢原養護学校教員見学受入

### 4 行事

4月 2日(木)	お花見(中止)
4月 11日(土)	保護者会(中止)
5月 9日(土)	ふれあいフェスティバル(中止)
6月 11日(木)	日帰り旅行(中止)
7月 9日(木)	暑気払い(中止)
9月 8日(火)	防災訓練(火災想定)
9月 26日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会(中止)
10月 8日(木)～10月 9日(金)	一泊旅行(中止)
10月 17日(土)	保護者会(中止)
12月 10日(木)	忘年会(中止)
1月 16日(土)	初詣(中止)
2月 9日(木)	防災訓練(地震想定)

### 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月8日	避難訓練 (火災想定)	男性更衣室より出火想定、避難口より駐車場まで避難、スムーズに非難する事ができた。
2月9日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。終了後防災センター見学を行った。

## 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 利用者の支援体制の充実と工賃の向上を図る。  
⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大で4月に緊急事態宣言が発令され、基本的に利用者も自宅待機となったが、送迎対応の利用者については半数ずつ1週間交代で利用できる体制を取った。また、自宅待機の利用者には毎日、体調や発熱の有無を電話で確認するなどリモートによる支援を行った。4月、5月、6月と出勤数が少なかったため利用者工賃もかなり減収となり7月賞与で補填したが、年間を通してかなりの減収となっている。
- 2 利用者の就労支援と就労後の定着に関する支援を強化する。  
⇒ 5月に1名が就労継続支援A型に移行、7月に1名株式会社メルクに就職することができた。定着できるよう引き続き支援していく。
- 3 職員が理念、方向性を共有し、施設内研修、施設外研修に参加し支援技術、モラルの向上を図る。  
⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの研修や会議が中止となったが、今後はオンラインでの研修参加も検討したい。
- 4 中期計画の策定を行い、利用者の定員増を想定した環境の整備に努めていく。  
⇒ 年度当初に策定した中期計画も新型コロナウイルスの影響で計画通り進めることができなかったが、今後はコロナ禍でも利用者を増やすための環境整備を行ってきたい。
- 5 「つくし」との連携協力強化を図る。  
⇒ 取引先の共有等、作業に関することはお互いの情報交換が行えたが、コロナ禍のため職員の交流研修はできなかった。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・利用者・職員の手指消毒の徹底。
- ・利用者、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤、利用停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・入室者の氏名及び体温記録等の管理表を作成。
- ・作業棟の換気の徹底。
- ・空気清浄機、オゾン脱臭機の設置。
- ・外部業者による施設内立入の制限。

### 【中止・変更した事業等】

- ・緊急事態宣言期間中、利用者を2班に分けて1週間交代で利用する体制とした。
- ・日帰り旅行、忘年会の中止。暑気払いは食事会に変更し事業を縮小して実施。
- ・保護者会の中止。
- ・体験入所の自粛。

## IX つくし相談室

### 相談支援事業

#### 1 開所日数

267日（2019年：267日） 1日平均相談件数 23.2件（2019年：25.1件）

#### 2 相談実績

##### （1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2020年度	14	0	76	119	2	0	0	211
2019年度	13	0	66	132	2	0	0	213

##### （2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2020年度	15	0	135	157	3	4	0	314
2019年度	17	0	132	155	3	4	0	311

##### （3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
2020年度	660	664	194	3,488	2	26	1,172	6,206
2019年度	743	703	186	3,144	1	29	1,909	6,715

#### 主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 3,922 件
- ・健康医療に関する支援 3,896 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 2,455 件
- ・就労に関する支援 823 件
- ・その他 4,206 件

#### 3 相談実績の分析とその対応

2020年度は前年度に引き続き相談実人数、支援方法は減少したが、新型コロナウイルスの影響もあり、社会情勢の大きな変化、それに伴う様々な福祉サービスが休止になるなど利用者が不安を募らせる生活を送られていた。

利用者が孤立せず安心した生活が送れるように相談室の職員が十分な感染症対策をした上で訪問や面談、電話相談、会議など関係機関との連絡調整など例年以上に丁寧な支援を行った。支援方法の電話や同行などの増加は顕著にそれを示していると思われる。

また各種福祉制度の狭間で生活に困難をきたしている支援を要する方々に対して、専門的な援助知識・相談技術を活用して迅速にきめ細やかな支援を行う「かながわライフサポート事業」を実施。2020年度の相談は数件あったが、実際の経済的支援、自立に向けた支援は1件であった。

## 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談への対応  
「つくし相談室のあり方」を方針として、適切かつ丁寧な支援を行っていく。  
⇒ 利用者及び家族に対し、きめこまやかでかつ丁寧な支援を行うことができた。また、「つくし相談室のあり方」に基づき、職員の業務の負担度を客観的に評価できるように数値化したデータを作成し、職員会議で定期的にデータの精査を行い、改善点などを協議した。なお、2020年度は新型コロナウイルスの蔓延により、「ヘルパーによる通院同行ができない」「就労継続支援B型事業所や生活介護事業所などの通所事業所が自粛休所のために通所できない」等、通常の支援が行えない状況があったため、相談員が通院同行を行ったり、日中通所できないために不安を感じる方の電話相談を受けるといった、平時と異なる調整や対応も行った。
- 2 関係機関との連携  
関係機関との綿密な連携を基本として、相談員がケースを抱え込むことなく「役割分担」を明確にして支援を行う。  
⇒ 引き続き関係機関と日頃から情報共有し利用者の支援を行ってきたが、2020年度は新型コロナウイルスを起因とする課題もあり、心理的、実務的な配慮を必要とする対応もあった。また支援会議を行う必要がある場合は、網戸を増設し換気を良くするなど感染予防を十分に行った上で、支援内容に対しての役割分担や今後の方向性などを議論し、利用者の意向を踏まえた支援が緊急時でもできたと考えている。
- 3 人事異動に伴う課題を予測し、一つひとつ丁寧に克服して、切れ目ない相談支援体制を維持する。  
⇒ 「つくし相談室の異動等に関する円滑な業務の移行について」を作成し  
(1) 人事異動で利用者の方が不安や負担が生じないように努める。  
(2) 異動してきた職員がスムーズに業務に取り組むためのスケジュール、検討点などをまとめ、切れ目ない相談支援体制の維持に努めた。
- 4 キャリアにあった研修を受講し、相談員の知識及び経験の維持向上を図る。  
⇒ 異動してきた職員が「相談支援専門員初任者研修」を受講し、相談支援専門員としての知識などを学習し、資格を取得した。  
また、多くの研修が新型コロナウイルスの影響で中止または延期となるなかで「苦情解決」に関する研修をオンラインで受講し、相談室で知識の共有を行った。
- 5 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート」の事業を円滑な運営に努める。  
⇒ 2020年度は1名が利用した。就職後、給与をもらえるまでの間の食料、電気などのライフライン支払等の支援を行った。経済的支援後も行政や就労移行支援事業所等福祉サービスと連携するなどの支援も行った。
- 6 法人40周年記念事業（つくし相談室10周年記念事業）を実施する。  
⇒ コロナ禍における記念事業の見直しに伴い、つくし相談室10周年記念事業は2021年度以降に検討することとした。

## 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内及び公用車の消毒の徹底。
- ・職員のマスク着用、毎朝体温チェックの徹底と記録管理。
- ・来所利用者への検温、うがい、手指消毒、マスク着用の協力要請。
- ・面談室に飛沫防止の亚克力板設置。
- ・網戸を増設し、換気の徹底。
- ・空気清浄機の設置。
- ・会議へのリモート参加。

### 【新たな支援】

- ・緊急事態宣言中に、通院等介助や移動支援を感染防止のためにヘルパー事業所が実施しなかった事例に対し、利用者の不安軽減のために相談員が通院同行を行った。
- ・感染防止のため、障がい福祉サービスの通所事業所、入所事業所への訪問ができないケースは、電話でのモニタリングで対応した。
- ・コロナ禍で不安が増している利用者に電話、訪問などの支援を行った。

## X 施設間連携室

### 1 設置場所

伊勢原市粟窪605-1 (みどり園内)

### 2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸出調整等

### 3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
2020-05-20	草刈り	草刈り機	伊勢原ふたば保育園
2020-06-02	笹の運搬	軽トラック	伊勢原ふたば保育園
2020-06-23	運動会等	和太鼓	本厚木ふたば保育園
2020-07-27	自転車講習会	プロジェクター	つくし相談室
2020-10-12	さつま芋収穫(職員のみ)	軽トラック	伊勢原ふたば保育園
2020-12-07	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
2020-12-07	利用者健康診断	日産マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
2021-03-24	伊勢原市立子ども科学館	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-03-26	遠足(わんぱくランド)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園

今年度は新型コロナ感染拡大のため、各事業所外出を自粛し、さつま芋掘りも中止となり、貸出等は大幅減となったが、上記の通り9件の貸出等調整を行った。

次年度は、新型コロナ感染対策をしたうえで、各事業所の計画に沿って連携室としてスムーズな調整ができるよう努めたい。

### 2020年度の課題に対する自己評価

- 1 施設間でのマイクロバス送迎や貸出の調整、小課題の問題解決に向けた取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を中心に行っていく。  
⇒ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、各事業所外出を自粛し、さつま芋掘りも中止となり、貸出等の調整業務は大幅減となった。2021年度はコロナ禍での各施設の状況を把握し、公用車、物品の貸出等がスムーズに進められるよう更なる連携強化を図る。
- 2 シルバー世代やボランティアによる運転員の確保に努める。  
⇒ 2020年度は、ボランティア運転手の開拓ができなかった。2021年度は、運転業務をシルバー世代に的を絞って求人を行いたい。

### 2020年度の新型コロナウイルス感染予防対策

#### 【感染予防対策】

- ・車両のシート等の除菌消毒の徹底。
- ・乗車時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・車内換気の徹底。





